

76回目の・・・

今日、8月9日は長崎に原爆が投下された日。このため、休日ではありましたが登校日とし、平和祈念集会を実施しました。(親子除草作業については、台風の余波を配慮し中止といたしました。)原爆投下がされた日から76年。すでにその経験をした人の多くは他界し、その状況を語り継ぐのが難しくなっています。しかし、この惨状を後世に伝え、“二度と戦争を、二度と原爆投下を起こしてはいけない”この思いを強く持つことは私達の務めであり、今年も6月から平和についての学習を行い、本日の平和祈念集会に臨みました。以下に平和宣言文を紹介します。



平和とは何でしょうか?76年前の今日、この長崎の地に一発の原子爆弾が投下されました。一瞬にして7万という命が消え去り、そして、今もこの後遺症に苦しんでいる人たちがいます。世界中の人たちが、戦争はいけないとわかっています。しかし、世界中から戦争や核兵器はなくなっていません。この瞬間にも、世界各地で紛争が起き、毎日のように大切な命が奪われています。何の罪もない人たちが殺され、中には私たちのような子どももたくさんいます。しかし、そんな状況でも必死に生きようとする人もいます。決して、遠い国の話ではないのです。被爆国に生まれた私たちは、何が出来るのでしょうか。戦争がもたらす、悲しみや苦しみを忘れてはいけないのです。76年たった今、もう一度、この長崎に生まれた意味を考えましょう。人間はこれまで互いに傷つけあいました。しかし、人間は平和な世界を築いていきます。「微力だけど無力じゃない」という言葉を胸に、一人ひとりが力を合わせて、加津佐中学校の平和を守っていきます。

戦争の悲惨さ、平和の尊さを考え、自分から発信していこう。

加津佐中学校の平和につながることを、一人ひとりが意識し、実践していきましょう。加津佐中学校の「平和の輪」を広げ、そして、世界の国々へ戦争の悲惨さ、無意味さを訴え、二度と戦争のない世界にしていきたいと思います。

私たちの加津佐中学校から、平和への一步を広げていくことをここに誓います。

令和3年8月9日 加津佐中学校生徒会

やっと、何とか

昨年、2年生で実施できなかった修学旅行を8月4日、5日に実施しました。昨年の保護者会においても、この状況だから仕方ないけど、最悪、キャンプでもいいので・・・との意見もありました。その思いを受け、実施に向けて何度も旅程・日程の変更を行いましたが、鳥鉄観光(長崎バスグループ)さんは嫌な顔一つせず、協力をいただきました。この場を借りて、改めて感謝申し上げたいと思います。今回は、1泊2日に県内旅行でしたが、やはり生徒にとっては貴重な経験になったと思います。全体としてよくまとまり、大きな事故や病気も無く過ごせたのが何よりでした。唯一、大きなアクシデントが・・・ハウステンボスの夜のライトアップを見学中、突然の豪雨。生徒の殆どがびしょ濡れ。しかし、これもよき思い出になると思っています。